

No.	章	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容	是正処置要否	是正処置予定年月	是正処置または方針及び進捗状況
1	1	環責・事務局に対する改善の提案	マニュアルの適用範囲の表現が分かりにくい。	要	27.4.1	マニュアルの、「(1)サイト」に文章でイメージしやすい説明文を加えて適用範囲の説明とする。
48	1	システム提案	三連蔵と地方卸売市場は、取組レベルがレベル3となっていますが、役割、責任、権限を明確にして再検討してはいかがでしょうか。 表4.4.2-1の⑩関連団体として位置づければいかがでしょうか。	否		取り組みレベルの決定フローに従い、現状のままとする。
2	2	環責・事務局に対する改善の提案	ISO14001「自己適合宣言」で運用していることをマニュアル上に明記した方がよい。	要	27.4.1	第2章適用規格に「自己適合宣言」で運用していることを加える。
3	4.3.1	環責・事務局に対する改善の提案	「著しい環境側面一覧表」は、活用するのであれば有効に活用し、活用することがなければ、わざわざ内部監査のための資料として作成する必要はない。	否		・事業所全体でどのような著しい環境側面があるのかを把握するために作成し、公表するための資料として作成し、各課の教育訓練の材料として活用してもらう。
4	4.3.1	環責・事務局に対する改善の提案	環境影響評価表の区分が細かく、評価の際に負荷が大きいのと思われるので、簡略化してもよいのではないかと。	要	29.4.1 (予定)	規格改定に伴うシステムの改訂と併せて検討していく。 簡略化すると評価の視点が曖昧になり、わかりにくくなる恐れがある。
45	4.3.1	システム提案	非定常時の施設管理において家電の廃棄及び車両管理の廃棄に関する環境側面の抽出については、多くの部署が関係していることから、水平展開事項として取り扱うか検討願います。	要	27.4.22	非定常時の家電等の廃棄の環境側面の抽出について水平展開する。
46	4.3.1	システム提案	非定常時の施設管理において家電の廃棄及び車両管理の廃棄に関する環境側面の抽出については、多くの部署が関係していることから、水平展開事項として取り扱うか検討願います。	要	27.4.22	非定常時の家電等の廃棄の環境側面の抽出について水平展開する。
47	4.3.1	システム提案	「目指せエコな市役所」への取り組みについては、環境側面からの特定にとらわれることなく、取り組めるシステムに変更することでユニークで楽しい取り組みができるようになる。	要		エコな市役所の取り組みを職員からの提案を受けて実施するなど、各課レベルで創意工夫していくよう呼び掛ける。
54	4.3.1	システム提案	業務委託施設を持つ場合、環境影響評価において日常管理が欠落しがちである。日常管理も含めた環境影響評価を行う必要があり、ISO14001規格改正もその方向で進んでいるので検討を要する。	要	29.4.1 (予定)	業務委託しているメインの業務部分で日常的に管理している運転管理等に対する環境影響評価が不十分であるところは、規格改定に合わせて今後改善する。
57	4.3.1	システム提案	事務事業の一般事務については全課共通様式により評価しているので、全ての事務事業について環境影響を評価する必要はないのではないかとと思う。 ISOは、事務事業の改善や行政事務の効率化による環境負荷の軽減についても検証するべきものであると思うので、ISOの取組事務の改善は重要であると考えている。 環境への影響が著しいと判断できるもの、あるいは重点管理が必要な事務事業についてのみ環境影響評価表の作成で良いのではないかとと思う。	要	29.4.1 (予定)	事務事業の中で一般事務とする事業は何かを明らかにし、そうでないものを環境影響評価するよう区別できるようにする。
50	4.3.1	システム提案	4.3.1において、課長が環境影響評価を行うことを定めているが、担当者が環境影響評価表を作成し、係内での協議により影響規模、判定結果を作成し、課長が承認する仕組みが適当と思われます。そうすることにより現場での課題発見、改善につながりやすくなります。	否		運用で、担当職員に作成させることは可能と考えられるので、改めてマニュアル上に明記はしないこととする。
32	4.3.1 4.5.5	システム提案	ISOシステムの運用管理(内部監査)は、書類不備の指摘など事務的事項に偏ると、形骸化する。真に環境配慮型の市政運営にするためには「何に、どのように取り組むのか」という本質的な検討とPDCAが必要である。 例えば、公共事業や委託事業における真の環境配慮、地震(大規模災害)時の対処、法令順守など、「〇〇課として、担当〇〇として、環境方針に基づき何をすべきか・何ができるか」に主軸を置くような方法に改めたらどうか。	否		ISOの規格改定と合わせ、今後の検討課題とする。

No.	章	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容	是正処置 要否	是正処置 予定年月	是正処置または方針及び進捗状況
6	4.3.2	環責・事務局 に対する改 善の提案	「法的及びその他の要求事項一覧表」は必要か検討を。また、浄化槽法の「順守評価内容」欄の記載について、各サイトにおいてそれぞれの浄化槽ごとに正しく管理されているかの確認と記述を修正されたい。	要	28.4.1 (予定)	・事業所全体でどのような著しい環境側面があるのかを把握するために作成している。各課の教育訓練の材料として活用してもらう可能性もあるため、必要かどうかを引き続き検討し、「必要に応じて作成する」等の表現への変更を考える。
5	4.3.2	環責・事務局 に対する改 善の提案	「法的及びその他の要求事項」で、「環境に関する法令、条例、例規の概要一覧」に関して、法改正等による変更確認のため、各課への照会を年1回は行い変更なしの場合も報告させるとともに、法改正分やそれ以外の順守が必要な項目について内部監査で確認できるようにチェック表を作成してはどうか。	要	27.4.1	各課に環境法令の変更調査を実施する。
52	4.3.2	システム提案	4.3.2における法的及びその他の要求事項の特定において、「環境に関する法令・条例・例規の概要一覧」を十分に活用できていないと思われます。特定する法令の漏れを防ぐとともに、法令に関する意識を高めるためには、環境影響評価時に必ず一覧表をチェックするなどの手順を環境マニュアルに定めるとともに管理職研修等において徹底することが有効と思われます。	要	27.4.1	今後、環境影響評価時に必ず一覧表をチェックするなどの手順を環境マニュアルに定めるとともに管理職研修等において徹底する。
55	4.3.2	システム提案	法的要求事項及びその他要求事項の根拠法令の該当条文を特定し、記載すると良いと思われる。どこを参照すれば良いか、誰が見てもすぐ分かるようにすることが職員の情報共有上必要であり、業務の基本を押さえていることが、業務改善や職員教育に繋がると思われる。	要	27.4.1	法令については、順守すべき内容、基準値等が明確にわかるよう、全課共通様式にて表記するとともに、管理職員研修時に各課固有の法的要求事項についても同様表示してもらうよう周知する。
40	4.3.2	システム提案	環境影響評価における「関連法令の扱い」と「法的要求事項の扱い」について考え方を整理すべきである。	要	28.4.1 (予定)	表現を検討する。
60	4.3.2	システム提案	「法的及びその他の要求事項一覧」において、当面は処分予定がないものの冷蔵庫、TV、自動車等を所有している場合の「順守評価該当有無」の記載方法について、監査員及び被監査課によって判断がまちまちであるため、事務局から統一見解を示して水平展開してください。			記載方法を統一し、庁内に水平展開する。
7	4.3.3	環責・事務局 に対する改 善の提案	各課等における「目標」が、環境方針からなのか、マネジメントレビューからなのか、法的及びその他の要求事項からなのか関係性が分からないので、何に基づいて導き出されたものかを明確に(明記)すべきである。	要	H29.4.1 (予定)	実行計画書に目標を導いた根拠を記入する項目を設けることを検討中。
8	4.3.3	環責・事務局 に対する改 善の提案	各課においてマンネリ化を防ぐためにも、その年によって重点的に取り組む事項というものを、マネジメントレビューなどから決めて取り組んではどうか。	要	27.4.1	従来の重点監査事項を重点取組事項として位置づけ、重点化を図っていく。
9	4.3.3	環責・事務局 に対する改 善の提案	「目的・目標一覧表」の活用や表作成の必要性について検討されたい。	要	27.4.1	実行計画管理表の中に目的目標一覧表と同じ項目があるので廃止する。
30	4.3.3	システム提案	環境影響評価において「車両管理」のうちガソリン消費を「判定結果で重点管理」としている、多くの車両が燃費が悪く、かつ年式が古く走行距離が数十万キロにある。運転者の安全の上からも計画的にハイブリッド車等を購入していく事を検討すべき。	否		使用頻度、予算等を考慮して、総務文書課の判断となる。
10	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	飯田市役所の運用システムがISO14001 [JIS Q14001]:2004の規格要求事項を満たしているかどうかを規格チェックリストによりチェックすることをマニュアルに明記し、確認した方がよい。	否		既に明記されている。
11	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	事務局で規格適合表リストを用意して、監査の中でチェックし、各チームの監査終了後に結果を提出してもらい、内部監査期間の途中に中間報告を受け、確認が漏れている項番号があれば後半の監査チームに確認漏れの箇所を重点的に確認してもらうような仕組みにしてはどうか。	否		監査はサンプリングによるため、限られた時間の中ですべてを全てをチェックすることは難しい。毎年の重点監査事項を決める際に、前年度の内部監査の結果を踏まえた内容とすることで対応したい。
12	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	トップインタビューを公開により実施し、市長が公の場で発言しているの、2.1(1)で市長の役割として「トップインタビュー」を受けることについて適当な表現で明記すべきではないか。	否		トップインタビューは監査の中の位置づけであり、インタビューを受けることまでは記載せず、現状のままをしたい。

No.	章	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容	是正処置 要否	是正処置 予定年月	是正処置または方針及び進捗状況
13	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	2.2環境管理責任者の役割で、(1)マニュアルの主管について「(第4.5.5章を除く)」とあるが、内部監査に関する内容を除いてよいか確認されたい。	要	27.4.1	環境管理責任者は、環境マネジメントシステムを確立、実施、維持する責務があることから、指摘のとおり表現を改める。
14	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	2.2環境管理責任者の役割の中で、「法的及びその他の要求事項一覧表」などの「～の承認」となっているところは、それぞれの部長が承認したものを取りまとめているだけであるので「～の確認」などの表現に改められたい。	要	27.4.1	「～の確認」に改める。
15	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	4.4.2の2. 表4.4.2⑩の環境マネジメント研修の中に、環境管理責任者が承認するとあるが、4.4.1 2.2環境管理責任者の役割に入っていないので追加されたい。	要	27.4.1	「環境管理責任者が承認する」との内容を追加する。
16	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	内部監査時の部長の位置づけが曖昧である。部長のマネジメントが有効となるような内部監査の受検か、経営層としてとらえるか検討の余地がある。	要	27.4.1	部長は、部内各課の統括者であると同時に、経営層の一面もあるため、内部監査の対象から外す。 現在の部長の役割は、課長が作成した目的、目標、実施結果を承認する役割を担っている。今後も部長の関わり方としては現状のままを希望する。
17	4.4.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	マニュアルの2.10(1)で、「飯田市役所の環境マネジメントシステムがISO14001の要求事項を満たしていることを…ISO推進会議にて確認」について「することができる」規定となってしまうので、(2)も含めて、「実施する」べきものと、「実施することができる」ものを分けて記述する必要がある。	要	27.4.1	「実施する」べきものと、「実施することができる」ものを分けて記述する。
34	4.4.1	システム提案	EMSの推進には、トップである市長のリーダーシップが重要であるが、それを補完する役割を担う部長層の権限と責任をより強化してはどうか。	否		現在の部長の関わり方は、課長が作成した目的、目標を承認する形態となっている。部長は経営層として各課の計画の承認を行う権限があり、関わり方は現状のままを希望する。
19	4.4.2	環責・事務局 に対する改 善の提案	「2.内容及び実施区分」の「表442-2」の中で、物品購入・業務委託先にも、飯田市のメッセージを伝えるためにもうまく活用すると良いのでは。	否		指針をどのように活用するかについては今後の検討事項とする。
18	4.4.2	環責・事務局 に対する改 善の提案	ISO19011の内部監査の指針を教育訓練等に活用されたい。	要		指針をどのように活用するかについては今後の検討事項とする。
20	4.4.2	環責・事務局 に対する改 善の提案	「法令が要求する有資格者一覧表」について、内容が「資格」の一覧表になっている。具体的な名前が入らないと意味がないが、どうするか検討・整理を。	要	27.4.1	どこの部署にどのような資格が必要かを示した一覧としている。異動等で有資格者は変更になるため、現状通りとする。
35	4.4.2	システム提案	新任職員に対しては、プリセプター職員からISOの基本的事項の説明を着任当初に行うことを制度化してはどうか。	要		人事課と相談し、必要性、可能性について検討する。 → 各課の教育訓練の中で対応
41	4.4.2	システム提案	ISO上の新人課長に対する教育訓練について、システム運用上の詳細な内容や課長が把握し実施すべき事項等についての実務研修を実施してほしい。	否		今年度から実施した。教育訓練として位置づけ今後、継続的に実施していく。
21	4.4.3	環責・事務局 に対する改 善の提案	職員提案制度について、最近提案がほとんど出なくなっていることから、出しやすくするための工夫が必要である。	要		・職員提案制度の周知徹底や、個人ではなく課として出せるようにするなど、出し易くするための工夫を検討していきたい。 ・エコな市役所の取り組みも職員提案として位置づけ、庁内に公表していく方法で、良い取り組みは水平展開できるようにしていく。
22	4.4.3	環責・事務局 に対する改 善の提案	4.3(1)本庁舎等の環境情報提供者が、本庁舎の庁舎管理担当部署である総務文書課長、総務部長が出てこないため整理が必要。(りんご庁舎、自治振興センターはその施設の管理責任者が入っている。)	要	27.4.1	施設を所管する課長を情報提供者として(1)～(3)までをまとめて記載する。
36	4.4.3	システム提案	職員提案制度をより機能させるために、事務局で提案内容の例示を示すことと、課単位でも日常提案できるようにシステム改善を加えてはどうか。	要		・従来の方法に加え、エコな市役所の取り組みも職員提案として位置づけ、庁内に公表していく方法で、良い取り組みは水平展開できるようにしていく。

No.	章	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容	是正処置 要否	是正処置 予定年月	是正処置または方針及び進捗状況
58	4.4.3	システム提案	「職員提案書」については事例が少ないので、機能しているかどうかの検証をし、個人で提案するのがよいのか、課単位で提案するのがよいのかなど検討する必要がある。	要		エコな市役所の取り組みを職員からの提案を受けて実施するなど、各課レベルで創意工夫していくよう呼び掛ける。
44	4.4.6	システム提案	年間計画書(様式433-1)の様式を変更し、年度当初の計画段階での策定に使用するだけでなく、毎月または4半期ごとの進捗管理に利用する。	否		提案のような様式ができるとうわかりやすいものになるが、A4の中に納まるかどうか検討が必要。
53	4.4.6	システム提案	タブレット端末等を利用した、各種会議のペーパーレス化の推進	否		指摘の内容を総務文書課で検討してもらう。
59	4.4.6 4.4.7 4.5.1	システム提案	環境マニュアルでは、課長の権限と責任が大きな比重を占めており、職員は「ISO14001は課長が行うものというイメージ」を抱きがちです。しかし、PDCAサイクルを役割分担として見れば、「P」は課長、Dは実施責任者と全職員、Cは課長と実施責任者、Aは全職員」となると考えられます。ISO14001の取組は、ややマンネリ化した観もなきにしもあらずです。賞賛事項として評価した2、3、4の取組(以下参照)をすべてのサイト1-1で展開できるように検討してみてください。  「2. 図書館業務の環境影響は一般的な範囲ですが、目的目標計画及び実行の過程において、代表者会(係長以上の会議)が、実施状況や結果を確認し(C)、計画や改善策を話し合い(P)、実行(DA)している仕組みが設けられており、定着しています。このことは、他のサイトでもPDCAサイクルの実効性を高めるための参考になるものと認められます。 3. 日常管理項目の運用管理、緊急事態への準備及び対応において、図書館施設の実情に則して、電源スイッチ類や消火器等々の場所が示されており、点消灯あるいは消火等の手順及び担当者などを記載したマニュアルが作成されています。全職員が実際の運用管理に関与するために大切な取組と認められます。 4. 環境方針及び環境マニュアルの改訂、サイトの年間計画の作成、トップインタビューの3機会をとらえた教育訓練が行われていました。上記2において、評価した仕組みを形骸化させないために、教育訓練、自覚促進と連動させていることが伺えます。」	要		課(サイト)単位におけるPDCAサイクルの良い取り組み事例として、管理職員研修時に水平展開(紹介レベル)し、全職員で取り組んでいく意識を啓発し、積極的に取り入れてもらうことを呼びかける。また、日常的な管理から、地震・火災時における人命を守り被害を最小限に抑えるための手順まで、基本となる事項の徹底を各サイトに図ることができるよう周知したい。
23	4.4.7	環責・事務局 に対する改 善の提案	各課の緊急事態試行訓練において、定められた様式を確実に使ってもらうことと、提出の有無や、「緊急事態等の特定の一覧表」に特定されているものが確実に行われているかを提出の一覧表をつくるなどして把握をされたい。	否		・定められた様式使用の徹底を図る。 ・提出の一覧表については、訓練の実施時期も年間を通じて計画・実施されていることから、これまで通りの対応とし、必要に応じて内部監査等で重点監査項目にして確認するようにする。
37	4.4.7	システム提案	事故防止とガソリン消費量の削減の観点から、新規登録から相当年数を経過した、又は、総走行距離が極端に長い公用車の廃棄、更新基準を設け、環境配慮型車両への更新を進めるべき。	否		使用頻度、安全性、予算等を考慮して、総務文書課で判断する。
24	4.4.7	環責・事務局 に対する改 善の提案	緊急事態の試行について、手順に通りやって問題があったかどうか、違ったところがなかったかどうか手順書に不備があったかどうか本来手順書に記載されているべきものがないかの検証になっていない。そうなるために、記録は簡単にして手順書の内容について問題がないかをチェックできるものにすべき。	要	28.4.1 (予定)	緊急事態の試行テストと訓練が一緒になっていて、試行テスト・手順の検証の部分が弱いので、改めることを検討する。
33	4.4.7	システム提案	緊急事態(油漏れ)の試行・記録は、一般的な事務職場においては統一的な手順書により周知徹底するように改め、形式的な試行等は取りやめたらどうか。	要	27.4.1	自動車からの油漏れ事故等の緊急事態試行は、形式的な試行になっていることもあり、緊急事態の試行の対象から外す。
49	4.4.7	システム提案	緊急事態及び事故の特定で石油類で車両が登録されていますが、民間等では登録されていることが少ないとお聞きします。施設ではないので登録を外してはいいのでしょうか。	要	27.4.1	緊急事態から外し、「車両事故の油漏れ」については手順書化・教育訓練のような方法で行うようにしていく。
51	4.4.7	システム提案	車両事故に関する緊急事態の試行は、想定等が空論となり実効が上がりづらい。現在の様式等による緊急事態試行訓練ではなく、教育訓練等で対応できるよう見直す必要があります。	要	27.4.1	自動車からの油漏れ事故等の試行は、形式的な試行になっているため、緊急事態の試行の対象から外し、教育訓練で行う。

No.	章	項目	賞賛事項、改善の機会、システム提案等の内容	是正処置 要否	是正処置 予定年月	是正処置または方針及び進捗状況
56	4.4.7	システム提案	「4.緊急事態試行」では、該当課長は緊急事態試行を実施して記録することになっています。4.4.7章2.2にある「緊急事態等の特定一覧表」の「車両」に関しては、「該当課」が「全課」であるので、毎年様式431-1の全庁共通用で「公用車の燃料流出、車両火災」を特定し、緊急事態試行実施と記録が必須となります。 しかし、車両火災と油漏れ対応は「事務局」等で統一的な対応手順を示すことで、環境マニュアルの見直しから毎年同じような試行を繰り返している実態を改められるよう検討してはいかがでしょうか。	要	27.4.1	緊急事態から外し、「車両事故の油漏れについては手順書化・教育訓練のような方法で行うようにしていく。
25	4.5.1	環責・事務局 に対する改 善の提案	測定機器の校正について、各課が確実にやっているか チェックできる仕組みが必要。	否		内部監査でチェックをしてもらうように にする。
31	4.5.1	システム提案	燃料、電気使用量の増加を複数年の統計(内容分析)で 示し、全庁的に削減への協力を要請されたい。	要		エネルギー使用量についてとりまと めをしていることから、今後、使用 量の推移を示していく。
38	4.5.4	システム提案	文書管理適正化事業に対応したISO文書の管理基準(特 に第1、第2ガイド及び個別フォルダの区分基準)を事務局 で示してほしい	要	28.4.1 (予定)	追って示すこととする。
28	4.5.5	環責・事務局 に対する改 善の提案	4.2内部監査チームの編成において、最終処分場や、下 水浄化センター等においては、「技術専門家」または、専 門的な知識を持った相互内部監査員の活用をされたい。	否		監査にあたっては、これまでISO 研究会所属の一定のレベル以上の 人などをお願いしてきた。引き続 き、専門的知識を持っている外部 の監査員をお願いしていく。
42	4.5.5	システム提案	環境マネジメントシステムの内部監査事務について、隔年 実施等の業務の簡素化を進められたい。	否		これまで通りの実施とする。
26	4.5.5	環責・事務局 に対する改 善の提案	相互内部監査員が年々少なくなってきたことから、審 査員養成研修機関のオンサイトトレーニングを実地する場 所として、飯田市の内部監査の場を提供できるか検討した り、環境審査員の登録機関である産業環境管理協会の ウェブサイト上にある相互監査募集ページに掲載して募集 するなどして、参加者が増える工夫・検討をしてはどうか。	要		・これまでどおり地域ぐるみ環境IS O研究会の実務者の方に協力をい ただくことを基本とする。産業環境 管理協会のウェブサイトの活用も今 後検討する。
27	4.5.5	環責・事務局 に対する改 善の提案	2. 内部監査の対象として、環境管理責任者(事務局)監査 と、部課の監査を同列に扱うのは無理があるのでは。ま た、別様式の自己チェック表を作成してはどうか。	要		・事務局と部課の監査は別で実施 してきており同列で扱っているとい う認識はないことから、これまで通り としたい。 ・別様式の自己チェック票は、監査 を受ける際に、自己チェックでき るので検討したい。
29	4.6	環責・事務局 に対する改 善の提案	①マネジメントレビューから次年度の取組みに反映できる ような仕組みづくりを。 ②コスト削減のため、システムの仕組みをシンプルにされ たい。 ③PDCA(市全体、各課、係、個人)を回していくような意識 付けを実践していただきたい。	要	①27.4.1 ②29.4.1 (予定)	①3月に実施するマネジメントレ ビューにおいて、次年度の重点取 組事項を決定し、実施していく。 ②規格改訂に伴うマニュアル・帳票 類の大幅改訂に合わせて検討して いく。 ③方法について検討する。
39	その他	システム提案	兼ねてからの懸案事項ですが、市政政策の企画・調整を担 当する部として、環境ISO、行政評価、人事評価等複数の マネジメントシステムが互いに相乗的に関係し合うような両 立、統合に向けた検討をぜひ進めてください。	要	29.4.1 (予定)	ISOと行政評価の連動の可能性に ついて検討を進め、方向性を28年 度内に決める予定。
43	その他	システム提案	現在市役所で取り組んでいる事務事業評価や行政改革な ど複数のマネジメントシステムとISOのマネジメントシステム では共通する部分も多く、環境をすべての政策の基本に 置くことから、統合した1つのマネジメントシステムの運用の 検討を提案します。	要	29.4.1 (予定)	ISOと行政評価の連動の可能性に ついて検討を進め、方向性を28年 度内に決める予定。